

2020年6月25日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

新たな社会貢献活動の枠組みの構築について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、今般、前事業年度におけるグループ業務純益^{*1}の0.5%相当額を社会貢献活動（寄付等）に拠出する枠組みを新たに構築することを決定いたしました。

MUFG は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、社会の安定の重要性を強く認識し、新型コロナウイルス感染症に対する各種支援を実施してまいりました。今般、新たに社会貢献活動の枠組みを構築することで、金融サービスによる貢献が難しい領域や社会にとって真に必要な領域に対して、より機動的で柔軟な支援をしてまいります。

なお、グループ各社が 2019 年度に実施した社会貢献活動関連拠出と本枠組みを併せると、2019 年度グループ業務純益の1%程度^{*2}となります。

MUFG は、持続可能な環境・社会の形成が MUFG の持続的成長にも資するとの考えの下、社会課題の解決と MUFG の経営戦略を一体で推進し、今後も社会課題解決に対する一層の貢献をしてまいります。また、株主還元の充実やお客さまの期待を超えるサービスの提供、社員にとって働きがいのある職場の提供をめざし、すべてのステークホルダーの期待に応えてまいります。

*1 与信関係費用等控除後の業務純益

*2 本年4月に実施した日本赤十字社への5億円の寄付、および5月に決定した学生の進学・生活および芸術活動の継続等に対する最大総額20億円の寄付・支援も本枠組みに含まれます。

以 上